



第135話 まんが:じっく

JA園芸課開催「園芸だよ! 全員集合」より④

初期経費が少なく、短期間で高収益のキュウリ!



主人公の野原拓人さんは、実家の農地を守ろうと就農を決め、Uターンすることになりました。ワンストップ就農窓口で、品目選定に向け相談をしています。今回は、キュウリの品目紹介です。



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
①促成栽培 (ハウス)	○3月中旬ごろ★4月中旬～			出荷ピーク					
②夏秋栽培 (露地)				○5月下旬ごろ★6月下旬～	出荷ピーク				
③抑制栽培 (ハウス)							○7月下旬ごろ★8月下旬～	出荷ピーク	



編集後記

▽JA管内の幼稚園や小学校などでは、田植えや野菜の植え付けなどの体験が行われました。女性部や青年部、JA職員が植え方などをアドバイスし、食の大切さを教えています。サツマイモやトマトなどを植え、水やりなどの栽培管理を行い、秋には収穫の体験が行われます。こうした食農教育を通し、農業の大変さや農作物が育つ喜びを実感してほしいと思います。(阿部)

▽参議院議員選挙投票日まで残りわずかとなりました。経済や外交など、政治の課題があらゆる分野にある中で、今回の選挙においては、「令和の米騒動」をはじめとする農政での対応が最大の争点になっているのではないのでしょうか。農業者にとっては、生産現場の思いを伝える絶好の機会だと感じます。自分も一有権者として、意思表示をしたいと思っています。(熊谷)

